

美しい 県土づくりNEWS



目次

- 2 いわて花巻空港「スカイフェスタ 2013」を開催しました
- 3 道路愛護団体等への感謝状贈呈式を行いました！
- 5 「岩手の住宅復興を考える」講演会を開催しました
- 6 下水道の普及啓発イベントを開催！
- 7 インターンシップを受入れました！
- 8 宮古市鯉ヶ崎・光岸地区で復興工事安全祈願祭開催

2013 年

9 月

岩手県 県土整備部

手づくり広報誌第 110 号

平成 25 年 9 月 30 日発行

編集 県土整備企画室

三陸復興

いわて花巻空港「スカイフェスタ 2013」開催！

～普段見ることができない空港施設や航空機を間近で体験～

「空の日(9月 20 日)」を記念し、9月 23 日に「いわて花巻空港スカイフェスタ 2013」が開催されました。平成6年度に花巻空港開港 30 周年記念事業として初めてのスカイフェスタを開催してから今回で 19 回目の開催となり、国(航空局、気象庁)、県、民間(航空会社、ターミナルビルなど)の空港関係者はもとより、利用促進に取り組む地元花巻市、花巻商工会議所、利用促進協議会、さらに、空港周辺の地域の人々が協力し、官民一体となって実施しました。

本イベントの開催などを通じて、いわて花巻空港が皆さまから親しまれ、地域とともにより一層発展する空港となるよう努めて参りますので、ご旅行・ご出張などの際には、いわて花巻空港を是非ご利用ください。





いわて花巻空港 「スカイフェスタ2013」を開催しました



～来場者数は 12,904 人で、前年より約 61%増加～

空港課

平成 25 年9月 23 日（月・祝）、いわて花巻空港において「スカイフェスタ 2013」が開催されました。当日の来場者は、12,904 人で昨年度よりも多くのお客さまにご来場いただきました。

当日は天候にも恵まれ、普段は見るできない空港施設や飛行機の見学ができ、いつもよりも空港を身近に感じていただくことができました。また、地元の郷土芸能「鹿踊り」の披露や各種ステージイベントが行われ、多くの方で賑わいました。

来年度はいわて花巻空港開港 50 周年の節目を迎えるので、県では今後も空港の賑わい創出に向けて、関係者と協力して取り組んでいきます。

【ステージイベント】



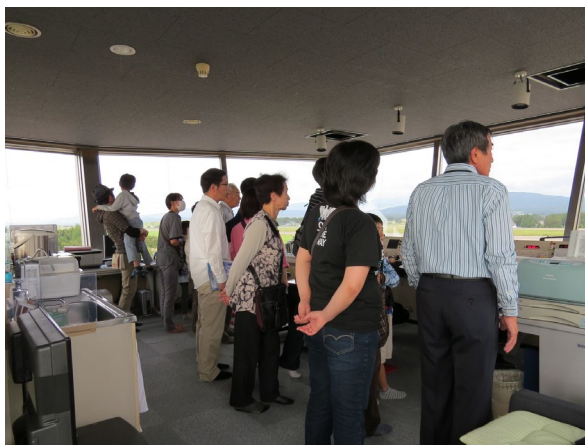
【化学消防車見学】



【防災ヘリデモンストレーション】



【管制塔見学】



道路愛護団体等への 感謝状贈呈式を行いました！

道路環境課

国土交通省及び県では、毎年、道路の安全と道路の正しい利用の促進、道路環境の美化に多年にわたり功績のあった個人又は団体に対し、感謝状を贈り表彰しています。

今年度は、9月 18 日に盛岡市のエスポワールいわてにおいて、佐藤県土整備部長から、国土交通大臣表彰 1 個人 2 団体へ感謝状を伝達するとともに、知事表彰 3 団体に感謝状の贈呈を行いました。

国土交通大臣表彰 受賞団体

◇ 菅原 義彦 氏（一関市）

昭和 61 年 4 月から、ほぼ毎日 1 時間 30 分、タバコの吸殻やゴミ、空き缶などを拾い、生活道路の美化に取り組んできました。活動範囲内には、復興支援のための路線や応急仮設住宅の地域があり、重要な道路の維持管理にも貢献されています。



◇ 更木地区道路愛護会（北上市）

更木地区道路愛護会は、春と秋に行う地区一斉活動のほか、道路の草刈や倒木の撤去等に随時取り組んでいます。また、花壇整備に力を入れ、道行く人達の目を楽しませるなど、長年にわたり地区内の道路維持管理に貢献されています。



◇ 平泉町立平泉中学校生徒会（平泉町）

平泉中学校生徒会は、昭和 53 年から現在に至るまで、毎年恒例の学校行事として、路面の清掃活動に取り組んできました。継続的な美化活動を行ってきたことは、文化遺産を有する町の景観の維持・向上に貢献しています。



◇ トイウルヤーズ（二戸市）

トイウルヤーズは、花壇作り、ゴミ拾い、側溝掃除、初期除雪など、基礎的な道路管理一般を住民の手で担ってきました。今年は空き家周辺の草刈り作業、ひまわりの花植えを行うなど、新しい取り組みも行っています。



◇ 戸田元村自治会（九戸村）

戸田元村自治会は、花壇の整備活動、地区内の道路美化、交通安全啓発活動に取り組んできました。地域の収穫祝い「カボチャ祭り」に合わせた、村道の美化・交通安全啓発活動など、ユニークな取り組みを行っています。



◇ 牡丹野自治会（紫波町）

牡丹野自治会は、将来の子供達に地域の豊かな自然環境を引き継ぐ為に、全ての世代が一体となり、地域活動として環境保全に取り組んできました。その活動は、地域住民やドライバーの目を和ませるとともに、環境美化に大きく貢献しています。



受賞された皆様、本当におめでとうございます！

そして県内各地の道路愛護活動に取り組まれている皆様、いつもありがとうございます！

道路は、きれいに、安全に、楽しく利用し、後世に受け継いでいきましょう！！

「岩手の住宅復興を考える」講演会を開催しました ～地域の家づくりから地域の復興へ～

建築住宅課

東日本大震災津波からの住宅の復興における課題を考えるため、8月29日盛岡市内で講演会を開催し、住宅事業者を中心に約80の方が聴講しました。



第1部では県土整備部勝又住宅課長より、「住宅建築行政の動向」と題して、災害公営住宅・持ち家住宅の新規取得や補修・民間等の賃貸住宅、それぞれにおける施策や支援制度全般について説明を行いました。



第2部は日本建築士会連合会会長・アルセッド建築研究所代表・芝浦工業大学名誉教授である三井所清典^{みいしよきよのり}氏から、「復興住宅のつくり方～地域の家づくりの生業の保全～」と題してご講演いただきました。

三井所氏は、ご自身が関わられた先の新潟県中越地震・山古志における事例を紹介しながら、住宅の再建を担う地場の工務店同士が、行政の手助けを得つつ連携することの必要性や、地元^{なまりわい}に根差した「それぞれの方言のような」住まいをつくるのが地域の生業を保つことだと説いていました。



下水道の 普及啓発イベントを開催！

下水環境課

平成 25 年8月 31 日(土)、イオンモール盛岡にて、下水道 PR イベント「なるほど！下水道」が開催されました。

また、9月7日(土)には、都南浄化センターにて、施設見学会「下水道探検ツアー」が開催されました。

両イベント共に下水道の普及啓発を目的として、公益財団法人岩手県下水道公社が主催し、多くの方々に楽しみながら学んでいただきました。

今後も、岩手県の水洗化人口割合の向上に向け、さらに住みよい街になるよう、下水道の普及啓発に取り組んでまいります。



微生物観察



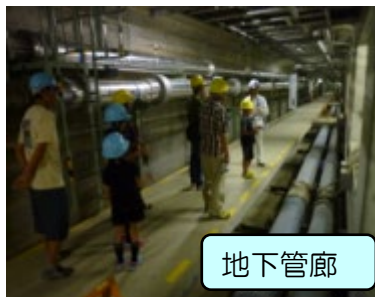
マンホール写真展示



下水道すごろく



処理施設



地下管廊



下水道について
学ぶ良い機会に

岩手県下水道公社
マスコットキャラクター



下水道講座

インターンシップを受入れました！

～ 大学生が県土整備部で職場実習を体験 ～

県土整備企画室

県土整備部では、9月9日から11日の3日間、大学生2名のインターンシップを受入れました。インターンシップでは、花巻空港やダムなどの管理・建設の現場などでの職場実習を通じて、県土整備部の業務を体感しました。

3日間の実習を終えて、感想などをインタビューしました。

実習生 ①岩手大学工学部3年高橋省吾さん ②盛岡大学文学部3年吉田雄明さん

Q1 県土整備部でのインターンシップを志望した理由は？

- ① 県職員の仕事について、積算・発注など、実際にどのようなことをしているのか、知りたかったため。
- ② 県職員の仕事の中でも、自分の生活とは縁の薄い分野だと感じ、知ってみたいと思ったため。



写真左が高橋さん、右が吉田さん 花巻空港車庫にて



写真上：築川ダム建設現場での実習の様子

Q2 実習を体験しての感想は(公務員の仕事への印象の変化など)？

- ① 公務員の仕事はデスクワークがメインと思っていたため、現場に出て仕事をしていることが意外であった。いろんな部署が連携して業務にあたっていること、工事現場の技術の進歩や人と環境への配慮などが印象的であった。
- ② 「お役所仕事」のイメージがあったが、現場の方と連携し機動的に仕事をしていることが分かり、印象が変わった。仕事に対して「きっちり・かっちり」行っていると感じた。

Q3 今後の意気込みをどうぞ！

- ① 今回の体験をもとに、自分の適性を見つめ直し、就職先について最終的な判断をしていきたい。
- ② 公務員について、就職先のひとつとして考えることができてよかった。この経験を就職活動に活かしたい。



写真上：網取ダム管理事務所で
の実習の様子



写真左：道路の工事現場(主要地方道盛岡和賀線)での実習の様子



写真右：業務について職員へ質問
をする実習生

宮古市鍬ヶ崎・光岸地地区で復興工事安全祈願祭を開催

～ 鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業 工事着手～

沿岸広域振興局土木部
宮古土木センター
都市計画課

【工事安全祈願祭】

平成 25 年 9 月 4 日、宮古市鍬ヶ崎・光岸地地区において鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業の安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭には、地権者、施工業者、独立行政法人都市再生機構、市、県、国等の関係者約 70 名が出席し、鍬入れの儀や玉串奉てんなどの神事が行われました。

施工業者を代表して、三井住友建設・本間組建設工事共同企業体が「当地区の工事を無事故無災害で早急に施工したい」と決意を述べられました。



会場の様子



玉串奉てんの様子

【鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業の概要＜施行者：宮古市＞】

本地区は、東日本大震災津波により、地区内の建物の大半が破壊・流失するなど甚大な被害に見舞われました。

このため、本地区においては、被災した方々の早期の生活再建や本市の主要産業である漁業・水産加工場等の再生に向けて、土地区画整理事業の実施により、道路、公園等の公共施設を整備改善するとともに、安全かつ安心して暮らすことのできる健全な市街地を一体的に整備し、東日本大震災津波からの早期復興を図ることを目的とします。

鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業の概要

- 1 土地区画整理事業の名称：宮古都市計画事業 鍬ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業
- 2 施行者：宮古市
- 3 事業期間：平成 25 年 6 月 13 日から平成 33 年 3 月 31 日（清算期間 5 年を含む）
- 4 施行面積：約 23.8ha

【おわりに】

今回の安全祈願祭を弾みとして、安全に工事が進められ、一日でも早く完成することを目指し、宮古市など関係機関との連携を図りながら復興事業が加速できるよう取り組んでいます。

宮古都市計画事業 鯨ヶ崎・光岸地地区土地区画整理事業 市街化予想図

